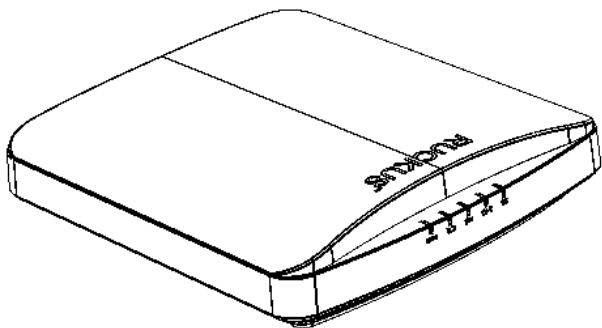




R650 アクセスポイント クイックセットアップガイド

本「クイックセットアップガイド」には、RUCKUS R650 デュアルバンド 802.11ax 屋内 Wi-Fi アクセスポイント (AP) を設置して使用を始めるための手順が詳しく記載されています。

図1 R650 アクセスポイント 上面図



本ガイドの多言語版についての情報

- 请从以下网站获得该指南的简体中文版 <https://support.ruckuswireless.com/?docs-box>
- Vous trouverez la version française de ce guide à l'adresse suivante <https://support.ruckuswireless.com>
- 이 가이드의 한국어 버전은 웹 사이트 (<https://support.ruckuswireless.com/?docs-box>) 에서 확인하시기 바랍니다.
- Veja a versão em português (Brasil) deste guia em <https://support.ruckuswireless.com>.
- Puede ver la versión en español (América Latina) de esta guía en <https://support.ruckuswireless.com>

説明を始める前に

RUCKUS製品を導入する前に、最新版のソフトウェアとリリース文書がそろっていることをご確認ください。

- リリースノートおよびその他の文書は、以下に掲載してあります。
<http://support.ruckuswireless.com/documents>
- ソフトウェア アップグレードは、以下にて可能です。<http://support.ruckuswireless.com/software>
- ソフトウェア ライセンスおよび制限保証の情報については、以下をご確認ください。<http://support.ruckuswireless.com/warranty>

パッケージの付属品

R650のパッケージには次の物品が含まれております。

- R650 AP本体
- 平面取付用のネジ&アンカー1式
- レール用マウンタ (2つで1式、IEC/DINレール取付に必要)
- 適合宣言書/規制に関するパンフレット

必要なハードウェアや工具

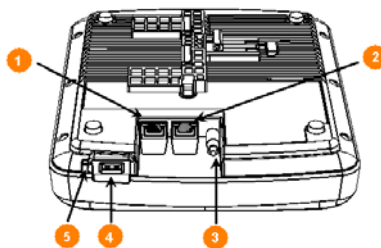
- 管理用PC (クラウド接続前に静的IP設定が必要な場合のPC)
- LANケーブル (cat5e以上、両端RJ-45コネクタ付ケーブル)
- AC/DC電源アダプタ (DC48V、別売品 902-1170-JP00) または 802.3at準拠のPoEスイッチまたはPoEインジェクタ
- 別売オプション 902-0120-0000 セキュア・マウントキット
- 壁や天井に取り付ける場合、材質に応じて電動ドリルと4.75mmのビットが必要です。マウントキットが無い場合は、市販されているDINレールが無ければ天井取付はできません。
- ボール取付の場合は、38.1mm~63.5mmまでの直径を持つパイプかボールであること、セキュア・マウントキットおよび市販されているボール用クランプ金具が最低2本は必要であり、クランプを締め付けるための工具も必要です。

手順1: APとPCをLANケーブルで接続して下さい

1. LANケーブルをPC/AP (2つのRJ-45 いずれかのポート) 接続します。
2. POEが無い場合、AC電源アダプタを用意しなければなりません。AC電源アダプタはRuckus純正品902-1170-JP00でなければ使用できませんのでご注意ください。

メモ: PoEインジェクタまたはPoEスイッチがある場合は、APの2.5G Eth PoEポートに接続して給電とLAN接続

図2 R650 アクセスポイント 底面図



3. APのLEDのうち、PWR LEDが緑点灯していれば準備完了です。

表1 R650 ポート一覧

| No. | 表示名 | 説明 |
|-----|--------------|--|
| 1 | 1G Eth | 10/100/1000 Mbps RJ-45 Ethernet ポート (PoE無し) |
| 2 | 2.5G Eth PoE | 100/1000 M/2.5G bps RJ-45 Ethernet ポート (PoE無し) |
| 3 | 48V 0.75A | DC48V 0.75A 入力 (DCバレルコネクタ内径1.35/外形3.5mm) |
| 4 | USB | USB 2.0 ポート (Type-A) |
| 5 | RESET | 工場出荷時設定に戻すスイッチ (10秒以上押し続けたままにする必要がある) |

手順2: APセットアップのためPCの準備をする

メモ: 以下の手順はPCがWindows8.1以降であることを想定したものです。

1. WINキー+Xなどで、ファイル名から実行を表示し、「ncpa.cpl」を入力して実行します。
2. ローカルエリア接続またはイーサネットを右クリックして、プロパティ > インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IP4) のプロパティに移動し、IPv4のIPアドレス設定を次のように設定変更して下さい。

メモ: 現在の設定を、後で使用するかも知れませんが、設定前の設定はすべて書き留めるか、スクリーンショットを撮影しておきましょう。

3. IPアドレスを自動的に取得するのではなく、次のIPアドレスを使うを選択し、

- APのデフォルトのIPアドレス: 192.168.0.1以外の192.168.0.2 ~254 いずれかの任意のアドレスを設定
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイは空欄で、DNSサーバの2つの欄も空白にすることが推奨されます
- OKをクリックして変更を保存しておきます

4. 設定が正しく行われたかどうかを確認するために、もう一度ファイル名から実行を表示し、「cmd」を入力して実行します。プロンプトが現れたら、ping 192.168.0.1 (enterキー) を入力し、Reply from が4行表示されることにより、PCからAPへのPingコマンドによるネットワーク疎通確認ができます。万が一、Request Timeoutが4行出てしまう場合は、APのRESETスイッチを10秒長押しするか、ケーブルの交換、あるいはもう一度手順1からここまでのすべての手順を見直す必要があります。

5. なお、DHCPサーバによる参照が出来る環境の場合は、APとPCを直接接続することなく、ネットワークにあるスイッチング・ハブにAPとPCをそれぞれ接続すだけで結構です。

手順3: 続いて、APにログインします

- 手順2に続きまして、APIにWebブラウザでログインして下さい。
なお、Webブラウザは、IE (Internet Explorer) 以外を使用して下さい。
- MS EdgeやGoogle Chromeなどをダウンロードしてから、URLアドレス欄に <http://192.168.0.1> を入力して、Enterキーを押します。
- 「この接続ではプライバシーが保護されません」が表示されますが、無視し詳細情報をクリックしてから、表示される「192.168.0.1にアクセスする (安全ではありません)」のリンクをクリックすることで、次のログイン画面になります。

図3 R650 アクセスポイントのログイン画面



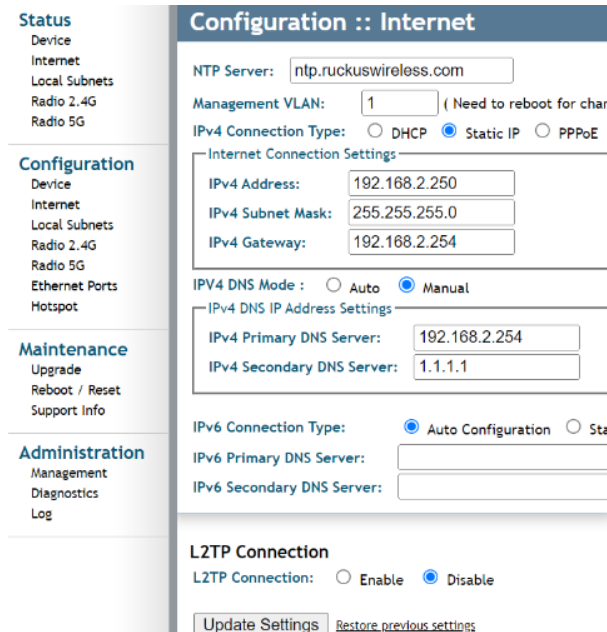
- username= super Password= super-admin
を入力して、Loginボタンを押すと、新しいパスワードを設定する画面になりますので、最低でも8文字の英数字入力を行い、確認のために再度同じく新しいパスワードを入力してから、Submit をクリックします。
- 再びログイン画面 (図3) が表示されますので、username= super Password= 新しいパスワードを入力して、Loginボタンを押すことにより、Status :: Deviceの画面が表示されます。
- ここでは固定IPv4の説明だけしています。
IPアドレスを固定にしなくても、RuckusOneクラウドサーバに接続できる場合は、ローカルでのセットアップは不要です。
APのLEDが、次の状態と同様に PWRとDIR/CTLのランプが緑色に点灯 (点滅では無い) している場合は、ブラウザを閉じて、クラウドサーバ管理者のための、アクセス先である<https://psi.msp.asia.ruckus.cloud/>へアクセスして下さい。

図4 R650 アクセスポイントのLEDランプの状態



- 図4で示すLEDにならず、PWRだけがゆっくりと点滅している場合は固定IP設定が必要な状態です。
Configuration メニューの下にある Internetをクリックしてから、Static IPを選択し、IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSの設定までを入力して下さい。以下は一例ですが、すべてのアドレスはルータや環境に応じて異なるので、設置先のネットワーク管理者から、正しく設定できるアドレス情報をすべて貰う必要があります。

図5 APのローカルWebUIの Configuration画面



- 必要な入力をした後、画面一番下の Update Settings をクリックすることにより、即時適用されます。

手順4: APを所定の場所で起動

- 手順3のために、APとPCを1対1で接続していた場合は、APがRuckusOneクラウドサーバに接続するために、ルータと接続できる場所に移動する必要があります。
なお、手順2の5で既に所定の場所でAPを起動させており、図4のLEDの状態になっているのであれば、ここでは何もする必要はありません。
- APがRuckusOneクラウドサーバに接続するためには、ルータのLANポートと通信可能なスイッチング・ハブに接続されているか、またはハブ経由でPoEインジェクタを経由して、APの2.5G Eth PoEポートに接続されている必要があります。PoEインジェクタがある場合は、AC電源アダプタは不要となります。

※このR650クイックセットアップガイドは、株式会社ピーエスアイが制作したものです。
Ruckus APはオンプレミスの物理または仮想コントローラ (SmartZone™) クラウド管理コントローラ (RUCKUS One™)、またはコントローラレス・アーキテクチャ (RUCKUS Unleashed™) から選択することができますが、当社では原則RUCKUS One™であるクラウド管理によるコントローラのみ提供しています。そのため、それ以外については説明していませんので、参考にされる場合はご注意ください。

手順5: クラウドサーバに接続できない?

- ここまでの説明を行っても、図4のようにPWRランプだけが点灯状態だが、しかしDIR/CTLランプがゆっくり点滅している場合は、ファイアウォールの設定変更が必要であるかもしれません。
- ルータまたはルータの上位にあるUTMなどがある場合はファイアウォール設定を確認して下さい。

●APからのアウトバウンドHTTPS (TCP 443) 宛先
<https://ap-registrar.ruckuswireless.com>
<https://asia.ruckus.cloud>
<https://device.asia.ruckus.cloud>
<https://storage.googleapis.com>

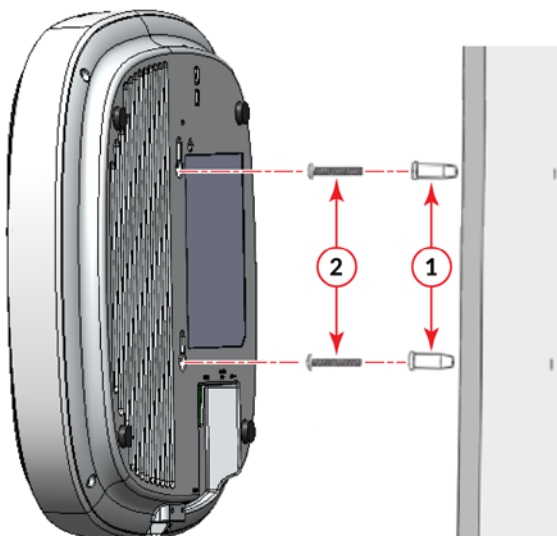
●APからのアウトバウンドHTTP (TCP 80) 宛先
<http://ocsp.comodoca.com>
<http://ocsp.entrust.net>
<http://ocsp.godaddy.com>

●APからのアウトバウンドSSH (TCP 22) 宛先
device.asia.ruckus.cloud

手順6: APを壁または天井に取り付ける方法

1. R650標準キットの場合、壁取付は2本の木ネジ（必要あればアンカー埋込）で取付可能、天井取付の場合は、DINレールまたはIECレール(3.5cm幅)を別途お買い求めいただく必要があります。DINレールはネット通販などでお買い求めいただけます。
参考リンク：<https://www.amazon.co.jp/dp/B097J1XJYD>
2. 壁取付の場合、本クイックガイドの4ページ目にあるマウント・テンプレートを利用して取付穴の2箇所の場合の印を取付面に付けて下さい。
3. 壁材がそもそも木材の場合は、アンカー不要なので電動ドリルにM4用の（+）ビットでそのまま木ネジを締め込むことができます。但し、ナベ部分が6mm突き出したところで留める必要があります。
- 3'. 石膏ボードや柔らかい材質のモルタルの場合は、アンカーを使います。電動ドリルに4.75mmのビットを準備し、穴をあける壁の材質に合わせて、ドリルビットを用意して下さい。
アンカーを使用する場合のみ取付面の印を付けた場所に、深さ25mmの穴を開けて下さい。アンカーをハンマーなどで、壁面に完全に埋め込んで下さい。
APを掛けられるように、ナベのネジ頭を約6mm 突き出した状態が残すよう、木ネジをアンカーに締め込んで下さい。
4. 2箇所のネジ頭の準備ができましたら、APをひっかけて下さい。
なお、取付済のAPを取り外すには上側のストッパーをリリースするために、付属のピンホール工具を穴に差し込んでおく必要があります。穴の位置は図7を参照して下さい。

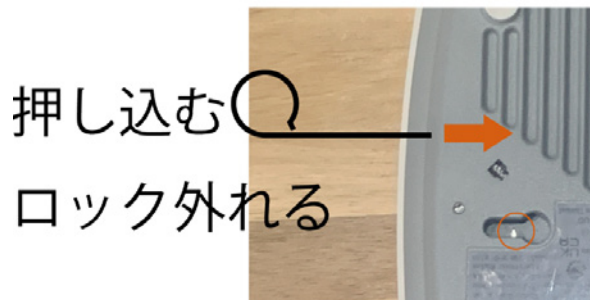
図6 R650 を壁に取り付ける



1. アンカー

2. ネジ

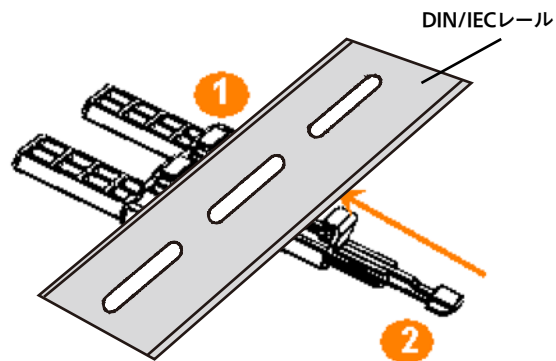
図7 ストッパーをリリースするための穴の位置



手順7: APを天井または19インチラックに取付

1. 天井取付の場合、少なくとも10cm幅のDINレールが必要です。19インチ・ラックにAPを取り付ける場合は、19インチ幅のDINレールを購入して下さい。またレールの中央にラックネジが使用可能な穴が開いている必要があります。

図8 レールガイドの組立



2. DINレール取付ガイドの組み立ては、図8の通りです。
①と②を組立ててから、DINレールを差し込むことも出来ます。
3. レールガイドをAPに取付けてから、天井に固定したDINレールにスライドさせるか、またはレールガイドとDINレールを予め合体させておき、天井または19インチラックに後で固定するかのどちらかです。なお、ラックの場合APの幅の空きスペースが必要となります。

図9 レールガイドをAPに取り付ける

